

# 幼保・小・中連携推進事業 「学びのかけ橋」プロジェクト

## 幼保小 連携・接続ガイドブック



### 【引用・参考文献】

- ・文部科学省「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）」2022-03
- ・文部科学省「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引きの参考資料（初版）」2022-03
- ・中央教育審議会初等中等教育分科会幼児教育と小学校教育の架け橋特別委員会「学びや生活の基盤をつくる 幼児教育と小学校教育の接続について～幼保小の協働による架け橋期の教育の充実～」2023-02
- ・文部科学省「今後の幼児教育の教育課程、指導、評価等の在り方に関する有識者検討会 最終報告」2024-10
- ・文部科学省「幼児教育と小学校教育がつながるってどういうこと？（幼児教育及び小学校教育関係者向けの参考資料）」2024-04
- ・文部科学省「スタートカリキュラムスタートブック」2015-01
- ・文部科学省「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム」2018-03

本ガイドブックで紹介した資料や様式の一部は、  
徳島県保育・幼児教育センターのWEBサイトでダウンロードできます。  
【<https://youjikyoku.tokushima-ec.ed.jp>】

徳島県教育委員会では、令和6年度から2年間、松茂町を指定地域とし、  
幼保・小・中連携推進事業「学びのかけ橋」プロジェクトを実施しました。

本プロジェクトでは、子供の学びや発達の連続性を保障するため、設置主体の垣根を越えた体制の構築や、園と学校の先生が互いの教育を理解し合う相互参観や合同協議等を行いました。また、これらのプロセスを経て、幼児期の遊びを通じた学びが小学校の各教科等の学習に円滑につながるよう、地域の実情に即した架け橋期のカリキュラムを協働して作成しました。

本ガイドブックは、松茂町での2年間にわたる具体的な取組をもとに、幼保小の連携・接続を進める際のポイントをまとめたものです。各市町村や各園・校での実態に応じて、適切に御活用いただければ幸いです。

【問い合わせ先】徳島県教育委員会 義務教育課

☎088-621-3196

令和8年3月  
徳島県教育委員会

# 幼保小の架け橋プログラムとは



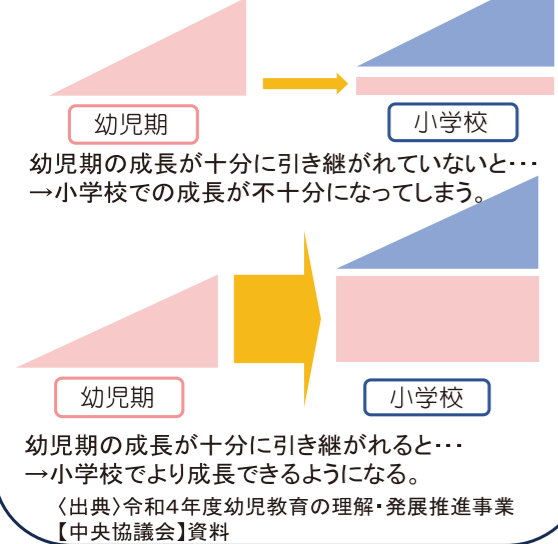
5歳児から小学校1年生の2年を「架け橋期」と言います。この時期にふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、子供たちの多様性に配慮した上で、全ての子供に学びや生活の基盤を育むことを目指します。

5歳児

小学校1年生

## 架け橋期

子供のよりよい成長のために、幼児期に培った資質・能力をさらに伸ばしていくことが大切です。



これからの幼保小の連携・接続は、学びの連続性が目的であり、幼保小の先生が協働して架け橋期のカリキュラムの編成を行うことが求められています。また、設置主体の垣根を越え、地域単位で取り組むことが重要です。

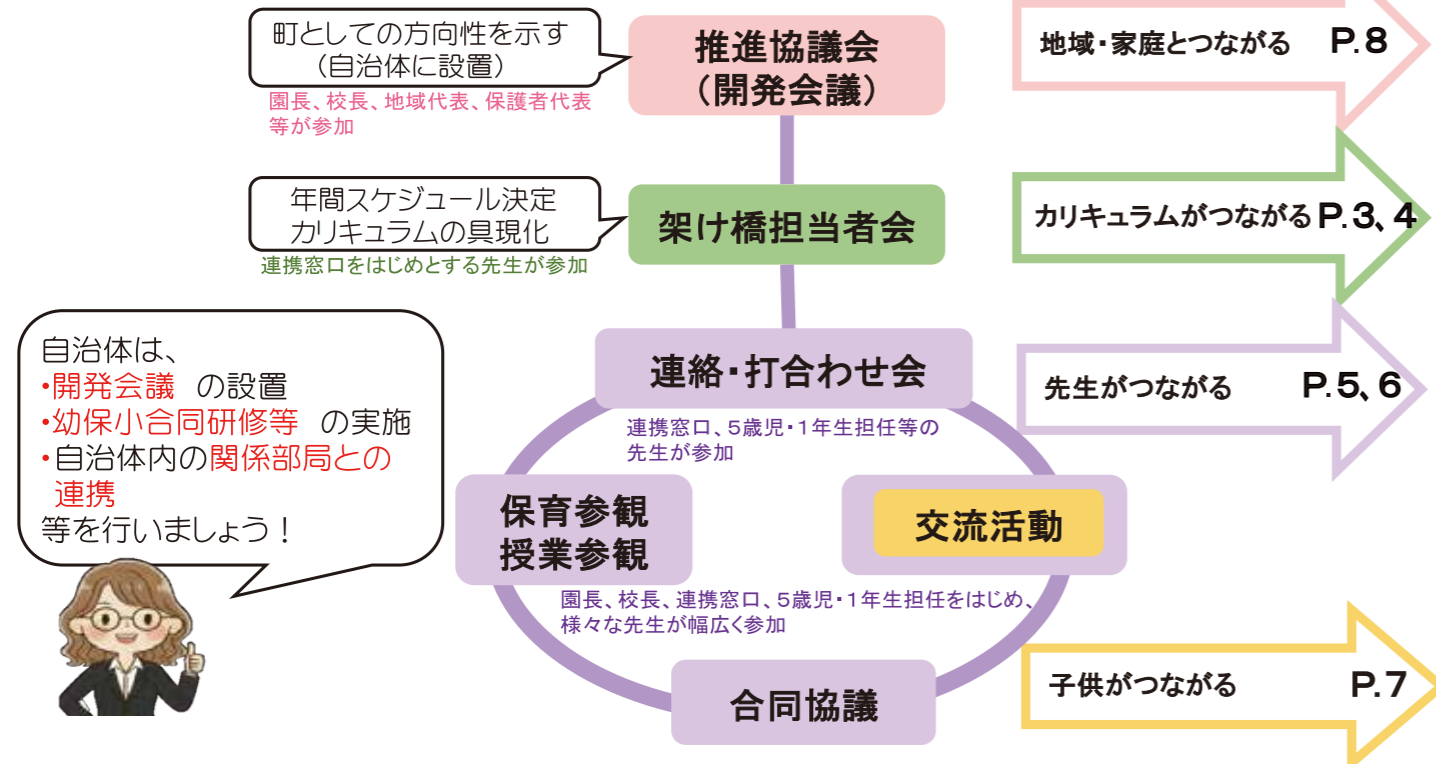
幼保小の架け橋プログラムは、何を指すのか？  
～ 幼保小連携・接続の「これまで」と「これから」～

	これまで	これから
目的	小学校への順応	学びの連続
内容	交流活動	カリキュラム編成
期間	数か月	2年(架け橋期)
実施単位	施設単位	地域単位

〈出典〉令和7年度徳島県幼稚園等教育課程研究会 資料  
文部科学省 初等中等教育局 視学官 横山 真貴子氏

## 松茂町の組織体制

### 自治体の支援が重要です！



# 架け橋年間スケジュール

月	子供 (5歳児・1年生)	保育者・教師	その他 (地域・保護者・他学年等)
4月		・第1回連絡・打合わせ会(引き継ぎ) ・第1回架け橋担当者会 (年間スケジュールについて)	・地方別子供会(登校班)
5月		・スタートカリキュラム授業参観、 ミニ協議	・幼小合同運動会
6月	・第1回小学校区交流会 (シャボン玉)	・第2回連絡・打合わせ会 (シャボン玉交流会計画) ・第1回推進協議会 ・1年生生活科授業参観、ミニ協議	・幼小合同避難訓練
7月	・ミニ交流(水遊び)	・幼小合同研修会 (幼児の遊びの事例を用いて)	
8月	夏休み	・第3回連絡・打合わせ会(情報交換) ・幼小中合同研修会 (算数科・数学科における学びの連続性について)	
9月	・ミニ交流(ネイチャーゲーム) ・ミニ交流(読み聞かせ)		・小学6年生による幼稚園での職業体験
10月			
11月	・ミニ交流(秋さがし)	・第4回連絡・打合わせ会 (秋のおもちゃランド交流会計画) ・小学校区幼保小合同研修会 (保育参観、合同協議)	・松茂町キッズフェスタパネル展示 ・中学2年生による幼稚園での職場体験 ・園長校長会での松茂中授業参観、交流
12月	・第2回小学校区交流会 (秋のおもちゃランド)		・園長校長会による松茂幼小保育・授業参観、交流
1月	冬休み ・ミニ交流(昔の遊び)	・第5回連絡・打合わせ会 (小学校体験入学計画)	・幼小中合同講演会(保護者も参加) ・園長校長会による長原小授業参観、交流 ・新入生入学説明会
2月	・第3回小学校区交流会 (小学校体験入学)	・第2回架け橋担当者会 (接続カリキュラムの編成、見直し)	・園長校長会による喜来幼小保育・授業参観、交流
3月		・第2回推進協議会	

### 文部科学省参考資料・動画

幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き(初版)

幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引きの参考資料(初版)

幼児期に本当に大切な学びって何ですか？

架け橋年間スケジュール  
架け橋プログラムとは、組織体制

カリキュラムがつながる

先生がつながる

子供がつながる

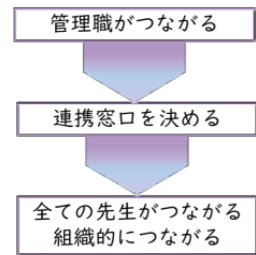
地域・家庭とつながる

「学びのかけ橋」プログラム  
やってみよう！

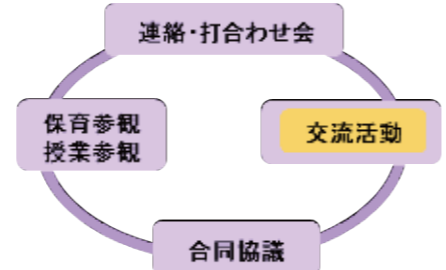
スタートカリキュラム



# 先生がつながる



まずは**管理職**がつながり、次に各園校の**連携窓口**を決めます。そして、全ての先生がつながるよう、**組織的な体制作り**をします。



## 合同研修を行い、相互理解を図りましょう

保育参観や授業参観、事例研究等を行い、互いの教育内容や指導方法への理解を深めましょう。「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」を手掛かりにしながら、**実際の子供の姿**を通して語り合うことが大切です。

### 保育参観

小学校の先生は保育を参観することに慣れていない場合が多いため、事前説明が重要です。参観前に、「**保育を見る視点**」や「**これまでの保育**」についての説明の時間を取りましょう。また、見取りシートを用いて参観すると、視点がはっきりし、その後の協議にも生かすことができます。

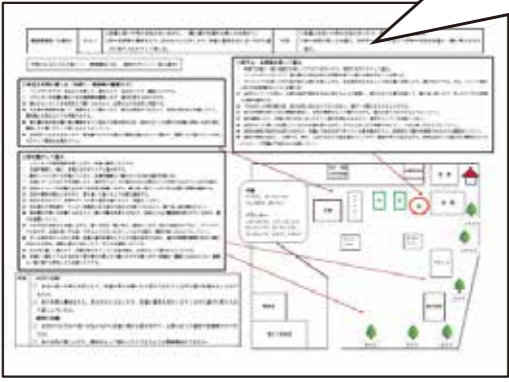
#### 保育を見る視点

- 子供の具体的な姿
- 子供の姿から、どのような力が育ちつつあるのか
- 子供の姿につながった環境構成と保育者の援助

シートに保育を見る視点を示すとともに、視点ごとに色分けをした付箋にメモを書けるようにしている。

#### 合同研修用指導案

小学校の先生にも分かりやすいように、園庭環境図に、「**ねらい**」内容「**予想される子供の姿**」「**環境構成**」「**援助のポイント**」を示している。



### 松茂町における先生がつながる取組

- 小学校区幼保小合同研修会 (保育参観、合同協議)
- 幼小中合同研修会 (算数科・数学科における学びの連続性について)
- 幼小合同研修会 (幼児の遊びの事例を用いて)
- 幼小中合同講演会 (保護者も参加)
- 幼稚園教諭等による授業参観、ミニ協議
- 園長校長会での保育・授業参観、交流

### 合同協議

参観後、見取った子供の姿をもとに、語り合います。協議の視点を、「**保育を見る視点**」と同様にすると、話しやすくなります。「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」や育みたい資質・能力を踏まえて、協議を深めていきましょう。

#### 協議の視点

- 子供の具体的な姿
- 子供の姿から、どのような力が育ちつつあるのか → 「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」を手掛かりにしながら
- 子供の姿につながった環境構成と保育者の援助 +
- 明日の授業、保育につながる環境構成と援助



文部科学省参考資料「**幼児期の終わりまでに育ってほしい姿**」



### 合同協議の流れ



### よりよい協議となるために



徳島県保育・幼児教育センターで行っている「架け橋期のコーディネーター講師派遣事業」も御活用ください。

架け橋年間スケジュール  
カリキュラムがつながる  
先生がつながる  
子供がつながる  
地域・家庭とつながる  
「学びのかけ橋」プログラム  
「やっぴ実感」  
スタートカリキュラム

# 子供がつながる



## 幼児・児童の双方にとって、実りのある交流活動を

活動前のねらい等の共有、子供の自発性を尊重する交流活動、そして活動後の先生による振り返りという一連のサイクルを回し、改善を図ることが大切です。また、子供の交流する姿を通して、子供の発達や学びを理解するという視点も重要です。

### 計画 (連絡・打合わせ会)

幼児や児童の活動のねらいや活動内容等を共通理解しましょう。先生の役割分担も決めておくといいですね。幼児と児童の双方が夢中になり、共に学び合える活動を設定することがポイントです。



打合わせの内容を指導案へ



幼保小のねらい等を示した指導案を作成し、幼児、児童双方の資質・能力が育まれるようにしています。

### 交流活動

指示が多過ぎたり、すぐに援助をしたりせず、子供同士の自発的な関わりが生まれるようにしましょう。



第1回 シャボン玉遊び

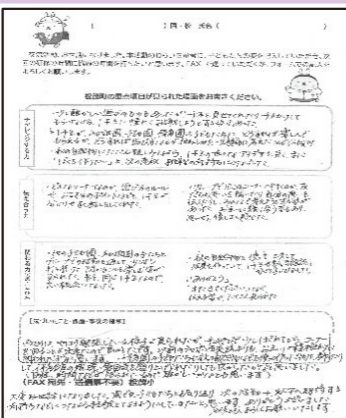


第2回 秋のおもちゃランド



第3回 小学校体験入学

### 振り返り (合同協議)



振り返りシート

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」や育みたい資質・能力を踏まえ、それぞれの先生が捉えた子供の姿や先生の関わりについて意見交換をするなどの振り返りを行うことが大切です。シートやフォームを通じて振り返り、共有することもできます。

### ミニ交流活動等

- ・水遊び
- ・ネイチャーゲーム
- ・読み聞かせ
- ・秋さがし
- ・地域の方との昔遊び

ミニ交流をちょこちょこ行い、顔見知りになるのも、いいですね。



# 地域・家庭とつながる



## 子供に関わる様々な立場の大人が協働して

園・学校だけでなく、地域や家庭も含めて、みんなで「地域でこんな子供を育てたい」と考え、共有することが大切です。また、幼保小の連携・接続の取組について、幅広く発信していくことも必要です。

### 推進協議会

- 松茂町のメンバー
- ・幼児教育施設園長 (公立、私立を問わず、町内全ての園)
  - ・小中学校校長
  - ・連携担当教員 (小学校教員)
  - ・保護者代表
  - ・運営協議会長
  - ・大学准教授 (アドバイザー)
  - ・町教育長
  - ・自治体行政担当



松茂町では、町で進めているSTEAM教育の視点を踏まえながら、期待する子供像の共有や、架け橋期のカリキュラムにおける幼保小の共通の視点等を検討しました。

### 情報発信の工夫



入学説明会での、「学びのかけ橋プロジェクト」、スタートカリキュラムの説明 (松茂小・喜来小)



町の広報誌にかけ橋プロジェクトを掲載 (松茂幼・喜来幼)

「まつげキッズフェスタ2025」にパネルを展示 (松茂幼・喜来幼)



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」ドキュメンテーション (まつげ子ども園)

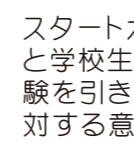


## やって実感！「学びのかけ橋」プロジェクト



松茂小学校長

2年間のかけ橋プロジェクトを行い、学校としてプラスになっている実感があります。子供主体の学びを積み重ねることで、1年生の表情が豊かになり、満足感をもって、学校生活を過ごせていることがよく分かります。また、職員も、幼児教育の見取りや支援方法などを学ぶ機会を得たことで、子供の豊かな発想を生かし、主体的に学ぶ授業実践へとつなげることができました。



松茂小学校1年生担任

スタートカリキュラムに取り組むことで、子供たちが、安心して生き生きと学校生活を過ごしています。また、これまでの幼児教育で育ててきた経験を引き出すことを意識した授業づくりをすることで、子供たちの学びに対する意欲も上がると実感できました。



松茂小学校1年生保護者

入学するとクラスの人数も増え、先生のお話が聞けるか、お友達と仲良く過ごせるかと心配でしたが、ホームページやお便りで学習の様子を知ることができました。帰ってくると、学校の話がたくさんしてくれるので、安心して送り出しています。

架け橋年間スケジュール  
架け橋プログラムとは、組織体制

カリキュラムがつながる

先生がつながる

子供がつながる

地域・家庭とつながる

やって実感！  
「学びのかけ橋」プログラム

スタートカリキュラム

# スタートカリキュラム



## スタートカリキュラムとは

小学校へ入学した子供が、園での遊びや生活を通じた学びや育ちを基礎として、子供たちが主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラムです。

幼児期の遊びの中で育まれた「やってみたい」という学びの芽を、小学校では自覚的な学びへと発展させていくことが大切です。



## キーワードは「安心」「成長」「自立」

### 安心

・園での生活に近い活動を取り入れるので、安心して学習に取り組むことができる。

・分かりやすく学びやすい環境を構成することで、安心して学校生活を送ることができる。

### 成長

・幼児期の経験を小学校の学習につなぐことで、自分の持っている力を発揮できる。

・先生や友達に認められることで、自信や意欲が生まれる。

### 自立

・自分で考え、判断し行動するようになり、自立につながる。

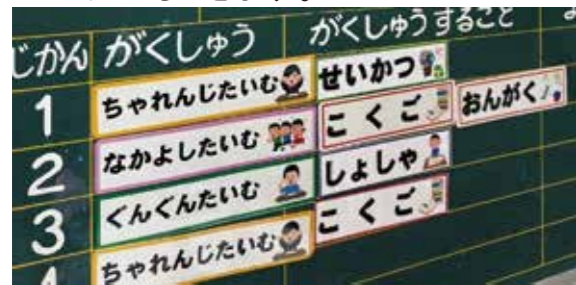
・夢や希望をもち、前向きに生活していくことができる。

## 合科的・関連的な指導の工夫 (生活科を中心にして)

### 単元配列表の作成

幼児期の遊びを通じた総合的な学びを生かし、教科等でのそれぞれの学びを相互につなげ、関連付けることが大切です。

また、単元配列表をもとに、学習類型を取り入れながら、カリキュラムを作成していくこともできます。



## 松茂町の学習類型

### ○のんびりタイム(朝の自由遊び)

始業前に友達とゆったり関わる。

### ○なかよしタイム

園で親しんできた遊びや交流活動で人間関係を築く。



### ○チャレンジタイム

子供の思いや願いを生かした、合科的・関連的な指導による生活科を中心とした学習を行う。



### ○ぐんぐんタイム

児童の思考の流れを意識しながら進める教科等を中心とした学習を行う。



第1学年 単元配列表(例)

各教科等	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
国語	あいうえおであそぼう				
算数	なかまづくりとかず	くらべよう	10までのかず	なんぼなんめ	いくつといくつ
生活	がっこうだいすき みんななかよし				
音楽	みんなであそぼう		おんがくにあわせて		
図画工作	すきなもののいろいろ	じぶんマーク	こんなことあったよ	わんどであそぼう	すなやつちとあそぼう
体育	からだほやし	ゆうぐあそび	おにあそび		
道徳	げんきにあいさつ	みんなでつかうもの	ともだちとなかよく	いきものとなかよし	
特別活動	入学式	1年生を迎える会		おしごとたのしいな	

〈出典〉文部科学省「発達や学びをつなぐスタートカリキュラム」(平成30年)

## 時間割や学習活動の工夫

## 週案の作成

第1週目 がっこうだいすき ～がっこうのことがしりたいな～

週	9日(水)	10日(木)	11日(金)
週目標	・担任や友達と仲良くなり、学校生活に希望をもつことができて、 幼児期に親しんだ遊びや、友達と仲良く交流する活動を取り入れることで、楽しい気持ちで一日をスタートできるようにする。		
登校後	朝の準備		
朝学習	なかよしタイム		なかよしタイム
朝の会	担任が進行		担任が進行
1	国語 きょうからいちねんせい ・呼名練習 ・お話を聞く姿勢	国語 なかよしタイム ・あいさつ名人 ・あさのしたくをやってみよう	国語 なかよしタイム ・朝の会 ・歌(校歌など) ・お話の聞き方
2	国語 入学式	国語 なかよしゲーム ・トイレ、どう使うのかな?	国語 自己紹介 ・机のなか、どう使うの?
業間	教室で過ごす		教室で過ごす
3	学芸 ・担任紹介 ・学校生活・下校指導について	学芸 コース別の確認 ・並び方・歩道の歩き方	算数 チャレンジタイム ・学校の中を歩いてみよう(廊下の通り方) ・安全な通学路(集団登校について) ・ごはんのかみしばい(楽しい給食)
4	給食	給食	給食
昼休み	6年生が準備		
掃除	下校の準備		
帰りの会	帰りの会		

発達に配慮し、短時間の学習を設定したり、具体的な活動等を位置付けたりする。

子供の思いや願いの実現に向けた主体的な学習活動を位置付ける。

## 安心して学びを広げる学習環境

自信や意欲につながる「できるようになったこと」短冊の掲示



見て分かる、自分でできるを促す視覚的支援



友達との距離を縮め、相談しながら安心して学べる工夫



## 文部科学省参考資料



架け橋年間スケジュール

カリキュラムが つながる

先生が つながる

子供が つながる

地域・家庭と つながる

「学びのかけ橋」プログラム

スタートカリキュラム